



# 航空宇宙産業における新型コロナウイルス感染症の 影響軽減に関する緊急要望 概 要

一般社団法人中部航空宇宙産業技術センター

令和3年10月

## 要望の趣旨

- 我が国の航空機産業は、民間航空機のコロナ禍による生産レートダウンにより大きな影響を受け、需要の回復に4～5年と他の産業に比べ長期間を要することが予測される。
- 航空機産業は、先進技術が集積する戦略産業であり、生産基盤が脆弱化すれば安全保障にも影響を及ぼす懸念もあることから、その健全な存続に向け各般の施策をより長期的な視点に立ち展開することが必要である。
- このため、中部地の航空宇宙業産業の発展に取り組んできた（一社）中部航空宇宙産業技術センターは、コロナ禍により厳しい経営を強いられている会員をはじめとして航空機関連企業に対して、アンケート及びヒアリングを行い、経営の現状と現行の支援施策に対する声の把握に努めた。
- この結果を踏まえ、この厳しい経営環境を乗り越え、将来を見据えた競争力の確保に取り組むための支援について国等への要望として取りまとめた。

## 航空機関連企業の経営状況

- ほとんどの企業で、航空機分野の売上はピーク（2017-2018）の7割減であり、この状況が当面続くと見ている。
- 航空機分野の売上比率が高い企業ほど厳しい状況であり、依然として休業や自動車産業等への出向が続く。
- 航空機事業の比率が相対的に小さい企業や半導体等の新分野展開が順調な企業では、社内配転により雇用を維持。
- 今後については、引き続き航空機分野を中心に事業を展開するものの、経営の安定のため新分野展開を模索する企業が多い。
- 新分野として、需要が好調な半導体分野や医療での受注に積極的に取り組む企業が多い。

# 1. 足下の厳しい経営環境を乗り切るための要望①

- コロナ禍により航空輸送需要が4～5年低迷することが懸念され、航空機が納品できず航空機産業は大きな危機的状況にある。
- 中小企業の多くは、事業の存続と雇用の維持のため、制度融資を活用した無利子・無担保融資や雇用調整助成金をはじめとした各種支援策を活用しながら、窮状を打開せんとして懸命の努力を行っている。
- 特に、雇用については、品質保証等による安全性の担保のため、高度な技術・技能を有する人材が不可欠であり、いずれ航空機需要が回復することを見据え、雇用の維持が必要との声が多い。
- このため、現行、支援策の継続、延長を求めるとともに、制度の拡充・見直しをお願いしたい。

## 【要望1】雇用維持のための施策の拡充及び要件の緩和

### (1) 雇用調整助成金の特例の延長

緊急対応期間・特例措置の再々延長(2021年9月末まで)されたところであるが、さらに2021年3月末以降の延長を求める。併せて、申請要件の更なる緩和及び書類の簡素化、延長決定の早期化等に取り組んでいただきたい。

### (2) 産業雇用安定助成金の要件緩和及び手続の簡素化

申請要件の更なる緩和及び書類の簡素化等に取り組んでいただきたい

### (3) 雇用マッチングの促進

人材を送り出したい企業と受け入れたい企業双方のニーズを十分把握していただき、メリットデメリットを双方理解の上で、適切なマッチングが実施されることをお願いしたい。

## 【要望2】金融支援策における要件緩和

### (1) 融資の要件の緩和

業績の回復に長期間要することが予測されている航空機産業においては、利子補助期間(3年)の延長や据置期間(5年)の延長、融資枠の拡大を望む声も多く制度の拡充をお願いしたい。

また、中小サプライヤーからは、航空機産業の業績の早期回復には、国内大手Tier1企業の操業の安定が欠かせないため、大企業に対する金融支援も検討されたい。

# 1. 足下の厳しい経営環境を乗り切るための要望②

## 【要望3】新たな仕事の創出に向けた支援

### (1) 他産業とのマッチング、逆見本市の開催

新たな仕事を探している中堅・中小サプライヤーの商談会・展示会への出展及びBtoBマッチング支援の拡大をお願いしたい。

また、大手の買い手企業がニーズや条件を先に提示し、売り手候補(サプライヤー企業)の提案を受けるいわゆる「逆見本市形式」の商談会の支援をお願いしたい

### (2) 需要回復後を見据えた販路開拓の取組継続への支援

需要回復後を見据え、販路開拓の取組を継続する企業に対し、海外動向等の情報も含めた国際的な展示会・商談会への出展支援や海外企業とのマッチング支援をお願いしたい。

### (3) JISQ9100の取得等の支援

航空機部品製造に必要な認証(JISQ9100、Nadcap)の取得及び維持に必要な人材や資金は大きな負担となっているため支援の継続・拡充をお願いしたい。

### (4) 防衛調達の前倒し

防衛産業は、中小企業を含む多くの企業がサプライチェーンを構成している。海外では、民間機事業の低迷時において防衛事業の増加により関連企業の経営が維持されており、わが国においても同様な支援が実施いただければ、民間機事業の回復時まで持ちこたえることの一助となる。

日本の防衛産業の基盤を維持するため、防衛予算の前倒しや調達価格の見直しについて特段の配慮をいただきたい。

## 2. 将来を見据えた取組みへの要望①

- アフターコロナの企業活動において、コアコンピタンスとしての航空機部品製造のみならず、航空機産業により長年培われた技術・技能を生かした新分野・新事業への展開を含め、生産活動をいち早くスタートできるよう力を蓄えておくことは重要である。
- 競争力の強化、より高度な生産体制構築のためは、これまでの技術力に磨きをかけるだけでなく、新技術・新製品を創出するための研究開発プロジェクトへの参加、生産性向上・IoT化設備の導入及びそれを進めるための人材育成は急務である。
- アフターコロナにおいて、中部地域の航空宇宙関連の企業が取り残されることのないよう以下の施策推進をお願いしたい。

### 【要望4】アフターコロナに向けた事業環境の整備

#### (1) 生産性向上・IoT化設備導入支援

IT導入補助金を拡充し、AIや自動化技術等を利用した生産性向上・IoT化設備導入への支援をお願いしたい

#### (2) 事業再構築補助金の要件緩和と継続

航空機製造事業を継続するためには、高額な製造設備の導入、更新を行うとともに、経営安定のために新分野進出するための投資額は大きいため、補助金限度額、補助率の高い事業再構築補助金は、良い制度であるので、その継続と申請要件、上限額の拡大、手続きの簡素化をお願いしたい。

#### (3) ものづくり補助金の要件緩和及び拡充

コロナ禍において雇用の維持、企業経営の維持が精一杯のなか、ものづくり補助金に課せられている「付加価値額の年率平均3%以上増加」などの要件は、現状の緩和では不十分であるため改善をお願いしたい。また、補助上限1千万円の撤廃をお願いしたい。

#### (4) IoT化を進めるための人材育成支援

IoT化推進の担い手育成のためIT及びサイバーセキュリティ教育の層の厚み・強化を図る必要がある。リモート教育を含め人材育成のための環境整備をお願いしたい。

#### (5) 専門家派遣に対する支援

IoT化を始めとしたアフターコロナに向けた企業の取組に関し、各種専門家の派遣を費用負担なく受けられるよう支援をお願いしたい。

## 2. 将来を見据えた取組みへの要望②

### 【要望5】研究開発プロジェクトの立ち上げ

#### (1) 航空機産業発展のためのプロジェクトへの参加

航空機次期戦闘機の国内開発が決定されている。このような国主導のプロジェクトを広く具体化してゆくことが航空機産業の発展に最も効果的であるため、川下から中小サプライヤーまでが参加できるプロジェクトの組成をお願いしたい。

また、国産旅客機として期待されたスペースジェットの開発再開に向けて、国が主導して取り組んでいただきたい。

## 結言 ～ 航空機産業への長期的な支援に向けて

- 航空機産業は先進技術が集積され、安全保障に直結する戦略産業である。新型コロナウイルス感染症の影響により航空機産業は、生産の縮小を余儀なくされており、需要の回復には4～5年と他の産業に比べ長期間を要するものと予測されている。
- 航空機産業のサプライチェーンを構成する企業は、その存続をかけて懸命に努力しているが、自助努力の範疇を超えた影響の拡大は、災害レベルに匹敵するといえる。
- 我が国の航空機産業が衰退することとなれば、安全保障に影響を及ぼす懸念もあることから、その存続に向け各般の施策をより長期的な視点に立ち展開していただきたい。